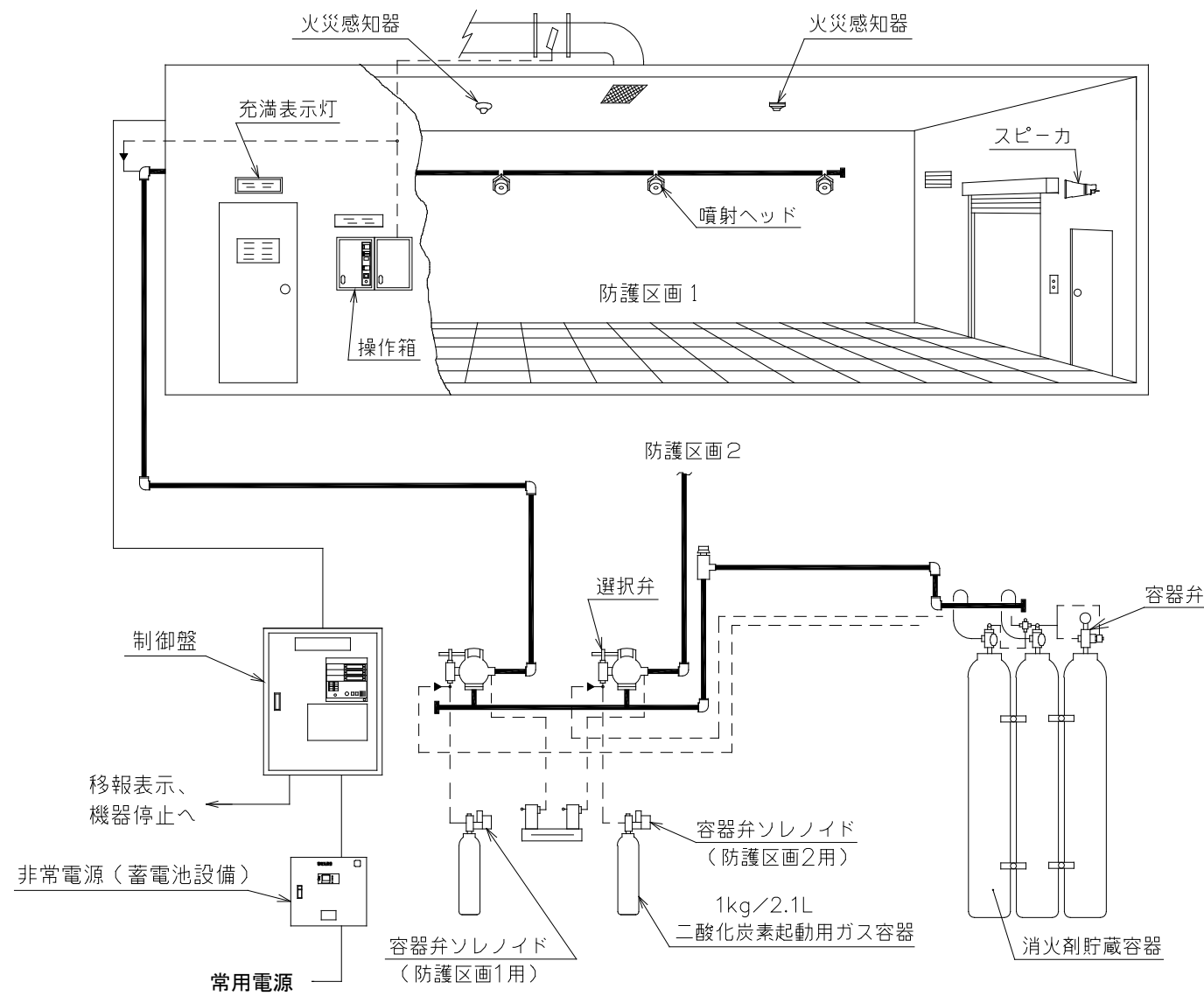
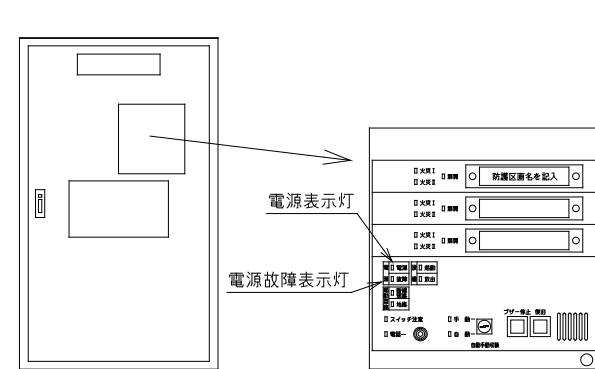


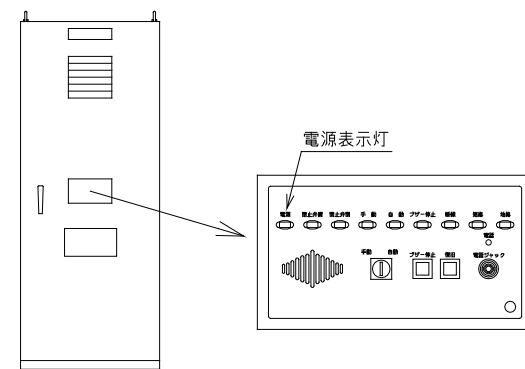
2-4 ガス系消火設備



ガス系消火設備の系統例



TC形制御盤の例



CP形制御盤の例

停電時

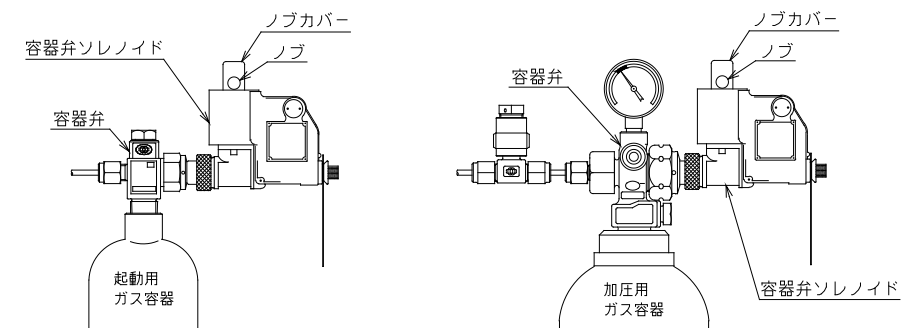
発生する事象	<ul style="list-style-type: none"> ・ガス系消火設備の電源が遮断され、自動的に非常電源（蓄電池設備）からの電源供給に切り替わります。 ・制御盤が製造された年代にもよりますが、非常電源に切り替わる際に、ガス系消火設備の電源断の表示および警報が発せられるものもあります。 ・非常電源からの電源が供給されていると、制御盤および操作箱の電源表示灯が点灯します。
発生する事象	<ul style="list-style-type: none"> ・数時間におよぶ停電により非常電源容量が低下すると、制御盤または火災受信機などに電源故障を警報または表示します。 ・非常電源の容量が低下すると、ガス系消火設備の遠隔起動ができなくなる場合があります。
発生する事象	<ul style="list-style-type: none"> ・電源が完全に遮断されるとガス系消火設備の遠隔起動ができなくなります。 ・電源が完全に遮断されると制御盤および操作箱の電源表示灯が消灯します。また、電源故障の警報または表示ができなくなります。
必要な対応	<ul style="list-style-type: none"> ・非常電源供給終了後はガス系消火設備が機能しないため、人により火災を警戒する等の対応をしてください。 ・火災発生時にガス系消火設備の遠隔起動ができない場合は、防護区画内に人がいないことを確認後、容器弁ソレノイドを手動で操作して消火剤を放出してください。操作方法の詳細は、設備の取扱説明書をご確認ください。

復電時

発生する事象	<ul style="list-style-type: none"> ・制御盤の電源供給が自動的に再開されます。
必要な対応	<ul style="list-style-type: none"> ・自動で設備が復旧しますので、必要な対応はありませんが、制御盤類の状態（表示灯、スイッチ位置等）が正常であることを確認してください。

注意事項

<ul style="list-style-type: none"> ・制御盤の製造された年代や型式により、電源故障の警報または表示が上記と異なる場合があります。 ・頻繁に停電が生じる場合には、非常電源（蓄電池）の充電が十分に行われず、設備の監視・作動時間が短くなる場合があります。 ・HS形蓄電池設備（鉛蓄電池）は、頻繁に停電を繰り返すと蓄電池の寿命を早める場合があります。



容器弁ソレノイド操作時の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・容器弁ソレノイドを操作して消火剤を放出するときは、防護区画に退避放送がされません。また放出遅延用タイマーなどが作動せず、ただちに消火剤が放出します。 ・放出の操作を行う前に再度人員の退避を確認し、開口部閉鎖および排気ファン停止の確認をしてから操作して下さい。
------------------	---

※非常電源が設置されていない場合もあります。非常電源の有無および種類を確認してください。非常電源の容量は、1時間設備を使用できる容量となります。詳細については、対象となる実設備の取扱説明書などをご確認ください。